
僕たちにできることは野球だけだから

オデヒシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕たちにできることは野球だけだから

【Nコード】

N3506Z

【作者名】

オデヒシ

【あらすじ】

巨大隕石衝突による地球滅亡が迫る中で、プロ野球選手天城丈太郎は最後のペナントレースに挑む。

プロローグ

もし明日地球が滅ぶとしたら今日一日何がしたいかというのは、案外世間話としてはよくするような議題ではあるけれど、それでも僕はその一日を野球をしたいと思う。

それは僕が自分の人生の大部分を野球にかけて生きてきて、何とか曲がりなりにもプロ野球選手という職業に就くことができたからかもしれない。

まあ、そんな自慢話はおいといて本題に戻すと今年の11月末日に巨大隕石が地球に墜落して人類は滅ぶらしい。4月半ばに、その発表が政府からあってからの1ヶ月間の社会混乱は想像を絶する凄まじさだった。

しかしながら時間が経つと、どうせ死ぬことがわかってるとみんな開き直ってきて11月までやりたいことをやりながら平穩に過ごせるようにみんなで協力し合おうという世間の流れができたのである。

どうやらどこかの世紀末救世主伝説にでてくるような略奪と暴力とモヒカンのあふれる社会情勢にはならなかったようだ。

プロ野球の開催も一か月程の中断があったけれど、シーズンを一生懸命応援したいというファンと精一杯戦い抜きたいという選手たちの声で、ペナントレースが再開することになった。

当然残された時間を家族と過ごしたいとかやり残したことがあるとかで球団を去ることにした選手も多かったけれどそれでも多くの選手は残ったし、特例措置で足りない人数分はドラフトにかからなかったアマチュアの選手を獲得できることになった。

いよいよ最期のシーズンが再開される。僕はそれまでのことを思い返していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3506z/>

僕たちにできることは野球だけだから

2011年12月11日23時49分発行